



第3章

中間評価の 目標達成状況について

1. 中間評価の実施方法

評価区分について

計画に定める51の評価指標について、計画策定時の値(以下、「計画策定値」という。)と中間評価時の値を比較し、以下の評価区分に基づき、判定を行いました。

評価区分 (判定)	達成状況 (基準値と中間評価時の値を比較)	備考
◎	目標値に達した	一つの評価指標に複数の対象がいる場合は、評価指標を1とし、対象ごとの評価をその割合で判定している。
○	目標値に達していないが改善傾向にある	
=	変わらない	
△	悪化している	
—	判定不可	

2. 分野別の達成状況について

各評価指標(51 指標)の中間期での達成状況は、◎評価が 2.0 指標、○評価 33.3 指標で、合わせると全体の 69.3%を占めています。一方、計画策定値からの悪化を示す△評価は全体の 26.8%となる 13.7 指標となっています。なお、分野ごとの◎・○評価の割合で、「健康診査・健康管理」と「健康づくりの環境整備」及び「食への関心・正しい知識」は 100%となっています。

分野	評価指標	評価区分				
		◎	○	=	△	—
栄養・食生活	7	0	4.58	0	2.42	0
身体活動・運動	6	0	3.75	0	2.25	0
こころの健康・休養	5	1	2.5	0	1.5	0
歯と口腔の健康	4	0	3	0	1	0
たばこ	5	0	2	0	2	1
アルコール	4	0	2.5	0	0.5	1
健康診査・健康管理	3	0	3	0	0	0
健康づくりの環境整備	2	0	2	0	0	0
食への関心・正しい知識	3	0	3	0	0	0
食を通じた健康づくりの実践	7	0	5.58	0	1.42	0
食の文化の継承	3	0	1.42	0	1.58	0
地産地消	2	1.00	0	0	1	0
合計	51	2.0 (3.9%)	33.3 (65.4%)	0 (0.0%)	13.7 (26.8%)	2 (3.9%)

項目の数値目標のうち、数値目標の達成状況で「達成(◎)」、「改善(○)」となった項目(69.3%)については、更なる改善を目指して、これまでの取り組みを推進することとします。中間見直しにおいては、「不変(=)」「悪化(△)」となった(26.8%)については、数値目標の達成に向けて、取り組みの充実を図ります。

※指標ごとの評価の算出にあたっては、一つの指標に対象が複数ある指標があり、指標一つに対しての評価も複数ある。この表については、一つの対象に複数対象がいる場合は、指標の評価を 1 とし、対象ごとの評価をその割合で判定している。なお、小数点 2 以下は切上げとする。